

## **J** 特産品の振興や人材育成などに期待 ALと連携協定を締結

12月17日(金)、日本航空株式会社(JAL)と地域活性化等に関する連携協定を締結し、調印式をおこないました。

今後、町とJALは、地域産品を使用した商品開発・販売など『特産品』に関することや、『人材育成』、モニターツアーなど『活性化』に関することについて連携し、協力して取り組みます。

JALの平井登<sup>のぼる</sup>九州・山口地区支配人は「住みよい町、魅力ある町づくりに協力していきます。地域を元気にし地域社会に貢献していくという強い思いを持っています」と話されました。



## **鰻** 子ども食堂へ の蒲焼きを寄贈

12月6日(月)、全青連(全国養鰻業者青壮年部連合会)鹿児島支部が10万円分、そうしん大崎ブレン21が5万円分の鰻の蒲焼(計106尾)を、町内の『子ども食堂いちごちゃん』と『のがた子ども食堂』に寄贈しました。

同支部の久徳洋<sup>ひろたつ</sup>健青年部長、ブレン21の嶽野<sup>かつろう</sup>勝郎会長は「子どもたちに鰻を食べて元気になってほしいです。子ども食堂の皆さんに美味しい料理を振舞ってもらいたいです」と話されました。

両食堂では11日(土)、鰻を使ったお弁当が配布されました。



## **親** 自分で作るとおいしいね 子の食育教室

12月11日(土)、持留小学校において、食生活改善推進員(食改さん)が親子向けに『親子の食育教室』を実施しました。これは、料理の楽しさや命の大切さ、食に対する興味関心を高めることを目的におこなわれています。

全校児童28名と保護者が参加し、みそ煮や納豆和え、トマトクリームスープなどを手分けして作りました。児童は食改さんに「次は何をしたら良いですか?」と聞くなどとても積極的でした。

2年の富岡ひまりさんは「野菜が苦手だけど完食しました!美味しかった」と笑顔で話してくれました。



## **ケ** 約10,300キロ離れた国の友達 ニアと文化交流

12月9日(木)、大崎小学校の6年生51名が、ケニアのテンリ小学校児童とオンラインで交流し、英語を使って互いに歌や文化などを紹介し、親睦を深めました。

本町在住のプルナマワティさん(インドネシア出身)による国際交流事業の一環で3年前にも開催され、今回で2回目です。大崎小の児童は、町の特産品やりサイクルに取り組んでいることなどを英語で紹介し、テンリ小は伝統的な衣装や食べ物などを紹介し、とても盛り上がりました。

宮川<sup>るな</sup>瑠那さんは「これまで勉強してきたことが通じて嬉しかったです。洋服の違いにビックリしました」と話してくれました。

